

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	シンガポール国立大学(国名:シンガポール)	
留学先学部名(またはプログラム名)	Faculty of Arts and Social Science	
留学期間	2015 年 8 月～2016 年 5 月	
学部/学府・年次	経済学部	3年次～4年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	無	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	自分の場合、学部修士一貫プログラムに合格していたのでそちらに進むことにしました。	
進路の予定	1. 就職 ( 時期: 4月から / ( ) 年 ( ) 月から) ②. 大学院進学(九州大学経済学府) 3. その他(具体的に: )	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
<b>1. 留学先大学について</b>		
授業(カリキュラム等)の概要について	1セメスターで3から5つの授業を取る。ひとつの授業に対して、基本的に週に2時間の講義と1時間のチュートリアルが課されている。講義に関しては概ね日本と同じだが、チュートリアルはゼミ形式のような授業で生徒によるプレゼンやディスカッションが行われる。また、毎週の授業に対して、平均50ページ～100ページほどのリーディングが課される。成績が相対評価で、かつ現地学生の場合は就活でGPAが評価されることもあって、授業雰囲気は基本的にピリピリとしている。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉強面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>住居面では、ほぼ確実に寮に入れるという点では充実している。また、大学内にスーパーなども揃っているため、キャンパス内で生活ができる。 語学面・勉強面での大学からのサポートはあまりないと思う。 精神面では、定期的にかウンセラー紹介のメールが来るので、充実しているのではないと思う。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>総じて満足である。シンガポール国立大学は、国策の一環として経費が使われるので、施設がかなり充実していた。キャンパス内を走る無料の循環バスも非常に便利である。また、レベルの高い学生の中で勉強できたことも良い経験となった。大学として国際化を進めており欧米からの交換留学生も非常に多い。実際に自分の友人もシンガポール人より 授業に関しても、基礎科目の単位さえ認められれば幅広く授業を受けることができる。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>Student Visa は、審査がとても厳しく苦労します。健康診断に関して、日本の病院での審査結果が受理されないケースもあるので、日本では受けずに、シンガポールで受診してもいいかもしれません。</p> <p>シンガポールは年中真夏なので短パンで過ごせますが、講義室など室内はとても寒いのでパーカーなどの長袖を持っておいた方が良いでしょう。</p>
-------------------------------	---

## 2. 事前手続き(ビザ申請など)

<p>ビザの種類</p>	<p>Student Pass</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>シンガポール移民登録局</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>詳しい手続き方法がメールにて送付される。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>1日から2日</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>HIV 等の身体検査</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	一般的にシンガポールは物価が高いと言われていますが、キャンパス内にあるキャンティーン(食堂のようなもの)では安く食事ができ、また、電車やバスも日本に比べて安いと思います。最初に空港について電車で移動するのであれば、受付で Ez Link Card を買うことをお勧めします。タクシーに関しても日本に比べて安く乗ることが出来ます。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	生活費計 91,000 円/月  (生活費内訳)住居費: 40,000 円、光熱水料: 0 円、通学費: 0 円、食費: 30,000 円 電話代: 1000 円、インターネット代: 0 円、書籍代: 10,000 円 その他: (具体的に)  学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば)一学期に 20,000 円ほど (徴収された費用の名目を具体的に: 手数料)
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	PC、変換器(変圧器はなくてもよい)、電子辞書、パーカー
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	犯罪率はかなり低く日本人でも安心して暮らすことが出来ます。 関税がかかっておりお酒が高いので、お酒が好きな方は空港の免税店でお酒を買うとよいと思います。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	街中では基本的にクレジットカードが使えますが、食堂などでは使えないのでかなり現金が必要です。1セメスター目は新生銀行の口座から引き落とししていましたが、レートがあまりよくなかったので、2セメスター目は日本から円をある程度持っていき、適当に両替所で両替して使っていました。

<b>4. 住居、生活環境</b>		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他( )	
住所／電話番号	6 College Avenue East, #01-01, University Town, National University of Singapore, Singapore 138614	
費用(月額)	約4万円	
どのようにして見つけたか	履修登録などの手続きに組み込まれており、渡航前に申し込む。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	設備がよく、他の学生との交流も増える。また、キャンパスの外に住むとかなり高いので推薦する。	
留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	Temasek Hall の裏にあるカレー屋さんには現地学生にも人気でお勧めです。	
<b>5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト</b>		
サイト名	URL	コメント
City Mapper		バス利用には必須のアプリ

--	--	--

**6. その他の特記事項**

--